

生涯の健康に関する理解促進事業 学習指導略案

対象学年：第2学年

1 研究主題

健康に関わる食品の安全性と食品衛生に関わる活動

2 主題設定の理由

本校は「キャリアガイダンス」の授業で基本的な生活習慣（特に睡眠リズム）等を身に付ける活動を行っているのが特徴である。

こうした背景から、「生涯を通じて自ら健康や生活環境を管理し、改善するための資質・能力を生徒に育成すること」を目標とする。

3 生徒の実態

円滑なコミュニケーションをとることができるようにすることに課題がある。

4 単元名

生涯を通じる健康

5 単元の目標

- ・生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】
- ・生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え判断し、それらを表現している。【思考・判断】
- ・生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自ら適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。【知識・理解】

6 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 知識・理解
① 課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ② 学習内容について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	① 学習したことを個人及び、社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 ② 資料等で調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。	① 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。

7 指導観

(1) 単元観

科目保健の授業では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために生徒同士の話し合い活動を多く取り入れるように心がけているが、現在は新型コロナウイルスの影響で席を移動させたりしてのアクティビティの回数は減少している。その代わりに、個人の考えをまとめ発表する機会をつくり、他者の考えを知る機会を取り入れながら知識等の定着を図ることができるようにしている。「科目保健」の中でも生涯を通じる健康の分野は、「未来の話」として捉える生徒が多くいる。しかし、全ての人々がこれから生きていくうえで重要な分野であるため、生徒の年齢に近い事例を取り入れたりし身近な話であることを理解させる。また、一斉授業だけではなく専門性のある方の講演を活用しながらより理解を深めていく。

(2) 教材観

「生涯を通じる健康」について学ぶに当たり「他者への思いやり」につながるように授業構成・計画を立てている。また、保健の授業だけではなく、「公民」・「家庭科」の学習内容について常に情報を得ながら、教科を横断しながら学習できるようにする。基礎的・基本的な知識に関しては、これまでの授業で学んでいるため、今回の授業では、産婦人科医による「現実社会の問題」について学ぶことにより、「性」について考えを深めていく。そして、身近な問題があることを知ることで、生徒が学習意欲を高めることができるようにしていく。

8 他教科等との関連

時	保健体育科	家庭科	特別活動
1	思春期と健康	ライフプラン	自己の成長と健康管理
2	性意識と性行動の選択	衣生活をつくる	睡眠
3	結婚生活と健康	保育	呼吸法・リラックス法
4	妊娠・出産と健康	親になる	アサーション
5	家族計画と人工妊娠中絶	こどもと関わる	ストレスコーピング
(本時)	性意識と性行動の選択	私たちの食生活と健康	認知の変容
7	体験学習		アンガーマネジメント

9 単元の指導計画と評価計画（全7時間）

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第1時	<p><思春期と健康> 生涯の各段階にはどのような健康課題があるか高齢化社会が進行している我が国の現状を示し、その中で社会が取り組んでいるものについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の高齢化の状況を理解する。 高齢者に対する支援について学ぶ。 	<p>イ① 学習したことを事例などと比較したり、分類したりしている。 (プリント記述の内容)</p>
第2時	<p><性意識と性行動の選択> 様々な性情報への接触が増える時期でもある。この中で、異性との人間関係や性情報に対して、どのような問題点や配慮する必要があるか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「性意識の違い」について学ぶ。 「性」についての社会の課題を学び、行動選択の必要性を学ぶ。 	<p>ウ① 生涯にわたって健康を保持増進するために必要なことについて、理解している。 (プリント記述の内容)</p>
第3時	<p><結婚生活と健康> ・結婚に際して健康面から考慮すべきことを学ぶ。 ・結婚生活を健康的なものにしていくためには何が必要か考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「結婚」についての法律等を学ぶ。 現在の自分の生活が今後どのような影響があるのか学ぶ。 	<p>ア② 学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 (活動での様子) ウ① 理解したことを記述したりしている。(プリント記述の内容)</p>
第4時	<p><妊娠・出産と健康> ・新しい命が誕生する一連の過程について学ぶ。 ・妊娠・出産期を健康に過ごすために、本人や周囲の人が配慮すべきことは何か考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産に関する法律を学ぶ。 妊娠・出産に関する手続きや公的サービスを学ぶ。 妊娠・出産に伴う体の変化や影響について学ぶ。 	<p>ア① 話し合いなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 (発言の内容)</p>
第5時	<p><家族計画と人工妊娠中絶> 妊娠を望まない時に私たちがとるべき行動は何か考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「家族計画」の重要性を考える。 避妊具や低用量ピルについて学ぶ。 人工妊娠中絶について学ぶ。 	<p>イ② 資料等で調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p>

第6時 (本時)	<性意識と性行動の選択> ・生涯を通じる健康のまとめを行う。 ・産婦人科医による講演から「性」について学びを深め、他者への思いやりについて考える。	・産婦人科医による「性」に関することを学ぶ。 ・保健の授業のまとめとしてどのような性意識・性行動を選択するか考える。	ア② 学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 (活動での様子) ウ① 理解したことを記述したりしている。(プリント記述の内容)
第7時	<体験学習> 妊婦体験を経験し、妊娠・妊婦に対する意識や思いやりについて考える。	・妊婦体験を通して、妊婦・妊娠について新たな発見をする。	イ① 学習したことを事例などと比較したり、分類したりしている。 (プリント記述の内容)

10 指導に当たって

(1) 指導形態の工夫

今回は、産婦人科医による講演会形式で行う。「性」に関する悩みや体のことの悩みを抱えている生徒もいるので、講演会後の全体の質疑応答時間を設けるとともに、アンケートと振り返りは教室で行いつつ、産婦人科医には別室で待機していただき個別相談も行う。

(2) 教材の工夫

講演会後の振り返りアンケートに関しては、自分の考えをまとめることが不得意な生徒が多いため、「記憶に残っているワード」「初めて知ったこと」「話を聞いてどう感じたか」など、生徒がまとめやすいように作成する。

(3) その他

ICTを活用しプレゼンテーションソフトを使用して行うが、「性」に関しての内容の際は気分を悪くする生徒も出てくる可能性があるため、画像を表示する際は、生徒に伝えてから表示するようにする。

万が一、気分が悪い生徒が出た場合を想定し養護教諭が待機し、対応する。

11 本時（全7時間中の第6時）

(1) 本時の目標

・学習内容について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
【関心・意欲・態度】

・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。
【知識・理解】

(2) 本時の展開（全7時間中の6時間目）

間時	学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 5分	○整列・挨拶 ○本時のねらい ○講師の紹介	・ ・全員が静かになってから挨拶をする。 ・科目保健及び家庭総合の授業で学習してきたことを振り返りながら、ライフプランを考える上で、早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送ることの大切さに触れ、本時の説明をする。(T1) ・講師の産婦人科医を紹介する。(T1)	

<p>展開 60 分</p>	<p>○講師（T2）による講演</p> <p>(1) 二次性徴による男女の体の変化・生理用品の学習</p> <p>(2) 食事・栄養・睡眠・たばこや飲酒の影響についての学習</p> <p>(3) コミュニケーションスキル、SNS の使い方についての学習</p> <p>(4) 妊娠・出産・人工妊娠中絶についての学習</p> <p>(5) 避妊法・低用量ピルについての学習</p> <p>(6) コンドームの使い方、男子の性、マスターベーションについての学習</p> <p>(7) 性感染症についての学習</p> <p>(8) 子宮頸がん と HPV ワクチンについての学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ナプキン等を実際に見せたりして、生理用品について理解できるようにする。 ・生活習慣の体への影響を学習し、現在の自分自身の生活を考えることができるようにする。 ・SNS 等での性犯罪が増えていることを説明する。 ・実際の事例等を示すことで、SNS の使い方やリスクについて理解できるようにする。 ・妊娠・出産の過程などを説明する。 ・東京都のデータを活用し、14 歳以下の年間の妊娠中絶者数を示し、「性行動の選択」が生徒にとって身近であることが理解できるようにする。 ・避妊法について取り上げる。 ・低用量ピルについて学び、生理痛や生理不順等にも活用できることを理解できるようにする。 ・コンドームについては、学習できるサイトを示し、自宅学習を促す。 ・性感染症について学び、対処法や対応について取り上げる。 ・病気とワクチンについて説明する。 ・HPV ワクチンや定期的な検診の必要性を理解できるようにする。 	<p>ア② 学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(活動での様子)</p>
<p>まとめ 15 分</p>	<p>○質疑応答</p> <p>○まとめ</p> <p>○教室へ移動</p> <p>○本時のまとめ 講師（T2）による個人面談</p> <p>○挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3人の生徒を対象に、質疑応答を行う。(司会 T1) ・ライフプランを考える上で、早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送ることの大切さを理解できるようにする。 ・本時の授業内容を振り返り、まとめを行いアンケートに記入する。 ・保健室にて個別面談を希望者のみ行う。(T2+養護教諭) ・全員が立ち、静かになってから挨拶をする。 	<p>ウ① 理解したことを記述したりしている。(プリント記述の内容)</p>

(3) 板書計画
プレゼンテーションソフトを使用